

知立市議会「高校生議会」の取り組み

選挙権が20歳から18歳に引き下げられ、主権者教育の一環で、市内3高校に「高校生議会」の開催を呼び掛け、準備等を進めていました。しかし、新型コロナウイルスの影響により、中止となり、大変残念に思っています。

高校生議会を開催するにあたり、議会やまちづくりにより関心をもってもらう機会をつくり、高校生議会で取り上げるテーマの選定につながるよう、タウンミーティングを行うことを各校に提案しました。事前に高校生から議員に対しての質問をいただいていたので、今回はその質問事項について紹介させていただきます。



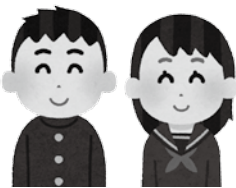
仕事で一番大変なことや、やりがいのあることは何ですか？

膨大な資料を読み、内容を把握し、その内容について、法律や条例との整合性、市の現状との適合性等の検証、先進事例や課題について調査し、自身の政策を確立すること。議会の中で、お互いに調整しながらより良い結論を導き出すこと。自分達が出した結論について、住民が満足している姿を見た時等があります。



議員になるには、何か資格が必要ですか？

特段の資格は必要ありません。ただし、地方自治体の議員に立候補するには、日本国籍を有し、その自治体の住民であること(引き続き3か月以上)、25歳以上であることが法定の条件です。



知立駅周辺に若者が好むような店の出店を誘致できませんか？

駅前整備が進む中、その地域における滞留場所をつくる仕組みづくりが必要と思われる検討する必要があります。そのような場所ができれば、若者が好む企業も誘致できるかと思います。



※知立高校総合学科2年生の生徒さん達からいただいた質問の一部です。

質問内容に高校生の考えが表れていて、とても興味深いものでした。高校生みなさんと意見交換をしていくことで、若い世代の考えを知り、知立市のまちづくりにつなげていくことができればと考えますので、来年度以降、「高校生議会」と「高校生タウンミーティング」をぜひ実現したいと思っています。